

【算数】「※」は学習するときのヒントです。

＜勉強すること＞◆「たし算とひき算」②（教科書 37～38 ページ）

いろいろなたし算にちょうせん！  
まずは「見つもり」をしてみよう。

見つもり…こたえがいくつくらいになるか、見当をつけること

見つもり

$400 + 100 = 500$   
答えは500より大きいね。

見つもり

①		4	8	2
	+	1	6	4

②		3	2	7
	+	3	7	6

筆算をして、  
答えを出そう。

※一の位から計算するから、はじめは「2+4」をするよ。  
※くり上がりがある時は、上に「1」をわすれずに書こう。

①も②も答えを出せたかな？これまでとどこがちがうかな？  
（前の時間は「318+225」だったよ！）

①…「318+225」は一の位をたしたら10より大きくなったけど、

①は十の位をたしたら10より大きくなる。

②…

つぎのめんだいは、どこがこれまでとちがうか分かるかな？

③		8	2	3
	+	4	3	5

見つもり

どこがこれまでとちがうかな？

③…



あれ？ これまで学習したことをつかったら、  
数が「4けた」になってもたし算ができるんじゃないかな？

④		3	2	6	4
	+	4	3	5	8

分かったことや見つけたこと、おもしろい！と思ったことなどを書こう。

---



---

今のみんななら、数が何けたになっても計算できるはず！  
自分で数を決めてたしかめてみよう。

+							

※自分で好きな数を入れて、計算しよう。(何けたでもいいよ。)

答えが同じになるはずだよ！

電たくで出した答え

※自分でつくったもんだいの  
答えを電たくで出そう。

「たしかめ」のもんだいを算数のノートにやって、  
学んだことをしっかり身につけよう。

教科書37ページ 

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

  
教科書38ページ 

6	7	8	9	10
---	---	---	---	----

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆たし算とひき算（教科書 P37～P38）

- ・くり上がりの際は、「1」をメモせずに計算をして、誤ってしまうことが多く見られますので、必ず書くように声をかけていただければと思います。それぞれの問題の違いに着目しながら、「数が増えても、結局計算の仕方は同じだ！」と感じられていたらすばらしいです。